

# 『EDUCATION』

## ○ニュージーランドの教育システム

ニュージーランドの教育システムは日本とはとても違います。

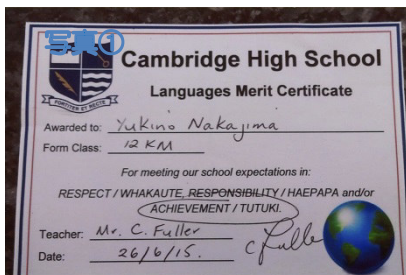
ニュージーランドの初等教育は5歳から始まり、15歳 (year11) で義務教育が終わります。ニュージーランドには NCEA(National Certificates of Educational Achievement) という全国統一の高校教育認定試験があります。本格的なテストは year 11 から始まり、ニュージーランドの生徒は year 11 から NCEA に入ります。

NCEA にはレベル1, 2, 3の3段階があり、普通は year でレベル 1、year12 でレベル 2、year13 でレベル 3をとります。在籍する学年は年齢で分けられますが、実際に学習する教科は各自のレベルに合わせてとることができます。例えば私は year12 なのでほとんどの教科はレベル 2をとります。しかし、得意な数学だけレベル3をとり、苦手な英語はレベル1をとることが可能です。中には year12なのに全ての教科でレベル3をとり、次年度は year13 に進級するのではなく大学へ進学する人もいます。

## ○ニュージーランドのテスト

テストは大きく分けて、インターナルテストと、エクスターナルテストの二種類があります。インターナルテストは単元末に主に行われる学校独自のテストで、エクスターナルテストはターム4の終わりに行われる全国統一のテストです。それぞれのテストを合格することによって、クレジットというものがもらえます。クレジットとは、日本でいう単位のようなものです。大学に行くために指定された数のクレジットを取る必要があります。また、テストによってもらえるクレジットは違い、平均して3-5クレジットが一回のテストで貰えます。テストが行われる頻度は教科によってばらばらで、日本のようにテスト週間(3-4日)が決められているわけではありません。先生の気分や生徒の要望で数日変わることもあります。テストの評価のつけ方は日本のように 0-100 点でつけるのではなく、non-achievement, achievement, achievement with merit, achievement with excellence の4段階でつけられます。non-achievement をとるとクレジットは貰えませんが、それ以上ならどれをとってもクレジットは貰えます。Achievement をとるのは大変ではありませんが、achievement with excellence は、とても大変です。

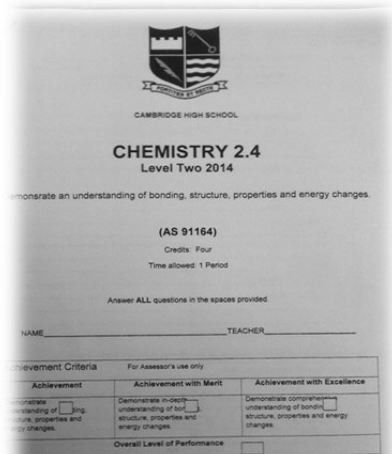
## ○ほめて育てる



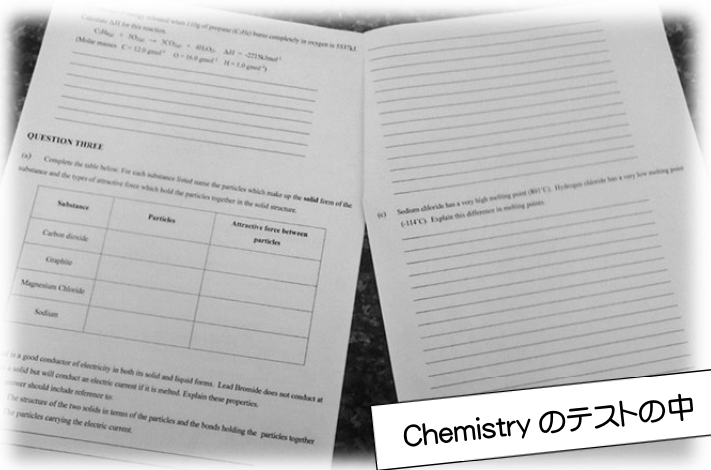
写真①は Merit Certificate というもので、要するに表彰状です。テストで Excellence などのよい結果を修めた人、特に努力をした人、周りの生徒にいい影響を与える人などに送られます。この Merit Certificate を5枚集めると、Dean's Award という賞がもらえます(写真②)。私はターム2の始めにこの Dean's Award を初めて貰いました。もうすぐ、3枚目の Dean's Award が貰えそうです。Dean's Award はほとんど学年集会で皆の前で名前を呼ばれます。初めて呼ばれた時はかなり恥ずかしかったですが、嬉しかったです。



ニュージーランドはまさに「褒めて育てる」です。日本とはとても違います。授業中に意見を出したり、先生に分らないところを聞くと、“well done” “good question” “great” “excellent” “good boy(Girl)” とひたすら褒めてくれます。先日化学のテストで Excellent をとりました。日本では習ったことが無い分野だったので余計に大変でした。自分でまとめを作って復習したり、単語カードのようにカードを作って勉強しました。単語は訳が分からないし、内容も難しかったので、勉強するのにとても時間がかかりました。先生がテストを返してくれたときに“You are my hero!!”とってくれました。とても感動しました!本当に時間をかけて頑張った甲斐があったと心から思いました。クラスの中でも excellent は数人だけで、留学生は私だけでした。この化学のテストは私の誇りです!



Chemistry のテスト



Chemistry のテストの中



Merit Certificate です。  
たくさんたまってきました。

# 『ENGLISH』

後半は、留学と聞いて誰もが気になる英語について書きたいと思います。

## ○英語力の変化

### 1か月目

- 周りが何を話しているのか全く分からない、会話ができない。
- 頭の中で文章を作ってからでないと言えない
- 自信が無く、大きな声を出せない
- 授業中は先生が何を話しているのか全く分からない。
- 自分の英語力が想像以上に低いと実感



### 7か月

- 時々わからないこともあるが、自然に会話できる
- 頭の中で文章を作らなくても、すらすら話す事が出来る。
- 大きい声で話せる
- 難しい科学や数学も英語で理解できるようになった
- 最初と比べると、とても上達したと実感!!

## ○英語の学習

### 日本

- 高校の授業
- 英語の本、英字新聞を読む
- 空いている時間にリスニングの練習、単語の勉強
- 頭の中で瞬時に文章を作る練習をする
- BIEEからの英語課題

### ニュージーランド

- ESOL、EAPという留学生用のクラス
- 英語の本(週に一冊)
- 英語の本の付録のCDを使ってスピーキングの練習
- 英語の日記またはエッセイを書く  
→先生がチェック
- 単語カードを使って単語を覚える
- たくさん話す

## ○学校で...

学校ではESOL、EAPのクラスでしっかり英語を勉強することができます。それ以上に更に勉強したいと先生にお願いすれば、たくさん課題を出してくれます。ESOL、EAPだけでなく、学校では友達と話す事が出来ます。英語は使わないといけないので、毎日たくさん話す事を心掛けています。友達とたくさん話せた日はとてもすっきりし、大きな達成感を感じます。



## ○ホームステイで...

ホストファミリーと過ごす時間は、英語力にとっても影響すると思います。私は5月下旬にホストチェンジをしました。今のホストファミリーでは、とにかくたくさん話します。ホストマザーはとても明るく陽気な人です。一緒にホームステイしているタイ出身の女の子も、とても明るく、よく喋る子です。このような家族で生活することで、自然とたくさん英語を使えるようになりました。そのおかげで、英語力がとても上がりました。これからもホストファミリーとの時間を大切にしたいです。

## ○まとめ

私はこの7ヶ月で自分の英語力はとても上がったと思います。英語の勉強は誰よりも頑張ってきた自信があります。勉強し続けるのはとても大変だし、時間もかかります。最初の頃は自分の英語力の低さに自分を許せなくなったり、辛くなったりしました。しかし、頑張り続けていればきっと上達すると信じて、悔しさをバネに頑張りました。他の留学生たちから「時間の無駄だ」とか「そんなにやっても意味ない」と言われたこともありました。他の日本人の留学生と距離を置いて、日本語に触れない環境を自分で作りました。その子たちに何を言われても、英語を勉強し続けました。今では、その子達よりずっと上手に英語を話せます。自分の英語力の方が高い自信があります。

留学をすれば、皆英語力が上がるわけではありません。留学しても努力をしなければ英語力は上がりません。留学生の中には留学三年目なのにほとんど英語を話せない人もいます。いつまでも母国語を使っているのは、いつになっても英語力は伸びません。私の留學生活も残すところあと三ヶ月です。残り短い時間を大切に、最後まで頑張ります!

(終)

●その他の高校留学・体験談はこちら

<http://www.bunsai.net/ryuugaku-taikendan/>

●特定非営利活動法人 文際交流協会

ホームページ URL <http://www.bunsai.net/>